



第 1510 回 例会記録 2025 年 10 月 17 日 (金) S.A.A.委員長 鈴木憲治

❖❖ガバナー公式訪問❖❖

【開会点鐘】 木村良三 会長
【S.A.A】 鈴木昭弘 副委員長
【例会場】 ホテルモリノ
【ソング】 ロータリーソング『我等の生業』
【お客様ご紹介】 木村良三 会長



- ◆大塚正一 様 第 2590 地区ガバナー (川崎北 RC)
- ◆波木井輝昭 様 第 2590 地区副幹事 (川崎北 RC)
- ◆大野勉 様 第 2590 地区第3G ガバナー補佐(川崎麻生 RC)
- ◆小山泰介 様 第 2590 地区クラブ管理運営委員(川崎高津 RC)

【会長報告】 木村良三 会長

1. ガバナー事務所より

○『第 54 回ロータリー研究会』の再案内が届いております。

例年より登録者数が 100 名以上下回っている為、参加再検討依頼となります。

11 月 17 日(月)～20 日(木) 4 日間 ゲスト参加対象者：ガバナー補佐、地区委員長、RC会長・会長エレクト

○2024-25 年度地区資金本会計・特別会計 決算報告書が届いております。

※本来、月信 10 月号に掲載して会員へ報告となりますが、10 月より月信を地区HPに公開と変更したため、本日会員の皆様へコピーをお配りいたしました。

2, R米山記念奨学会より、“ハイライトよねやま307号”のご案内が届いております。

3. 川崎とどろきロータリークラブより、地区大会表彰式登壇者のお問合せが届いております。

〈1〉米山功労者メジャードナー・・・鈴木 憲治会員

〈2〉R財団年次基金寄付優秀クラブ・・・木村 良三会長

〈3〉米山記念奨学会寄付優秀クラブ・・・木村 良三会長



4, 川崎百合丘ロータリークラブより、『第 3 回 会長・幹事会』開催のお知らせが届いております。

11 月 12 日(水) 18:00～ 鮎とよふく 会費 7,000 円

5. 川崎西ロータリークラブより、創立 60 周年記念「思いやりの集い」のご案内が届いております。

12 月 19 日(金) 式典:15 時 祝賀会:17 時 50 分
ホテル AURKSP 会費 15,000 円

【幹事報告】 宇津木茂夫 幹事

◆例会変更 ○川崎百合丘RC *11/ 4(火)

臨時総会 *11/11(火) 地区大会へ振替

*11/18(火)移動例会 点鐘 18:00 場所未定

*12/ 2(火)年次総会 *12/23(火)年末クリスマス家族会
点鐘 18:00 ホテルモリノ新百合丘 7F ○川崎RC



【出席委員会】

鈴木真一 委員長

例会	会員	出席	欠席	修正	出席率
1510 回	25	21	4		84%
1509 回	25	16	9	5	84%
1508 回	25	21	4	2	92%

第 1 5 1 1 回例会 10 月 2 4 日(金) 清掃活動(新百合ヶ丘駅周辺) ホテルモリノ ※10/31 は休会
第 1 5 1 2 回例会 11 月 7 日(金)・8 日(土) 地区大会 パシフィコ横浜
第 1 5 1 3 回例会 11 月 1 4 日(金) 指名委員会発表、他 ホテルモリノ



【委員会寄付】

委員会	第 1510 回(件数)	合 計
ニコニコ委員会	23 件	¥ 37,000
米山記念奨学委員会	2 件	¥ 15,000

【ニコニコ委員会 メッセージ】

鈴木昭弘 委員長

〈お客様〉◇大塚正一 ガバナー【本日は公式訪問にお伺いさせていただきました。貴クラブの皆様のご支援とご協力を頂き、地区50クラブと3アクトクラブの益々の発展の為に努力をしております。本日は宜しく願いいたします】

◇波木井輝昭 地区副幹事【本日はガバナーのお供で参りました。どうぞよろしくお願い致します】

◇大野勉 第3Gガバナー補佐【第3G 5番目の大塚ガバナー公式訪問に伺いました】

◇小山泰介 地区クラブ管理運営委員【本日はどうぞ宜しくお願いいたします】

〈会員〉◇木村良三会長【大塚ガバナー、波木井地区副幹事、大野第3Gガバナー補佐、小山クラブ管理運営委員ようこそ！】

以下同様 ◇宇津木茂夫幹事 ◇青戸慶太会員

◇碓井美枝子会員 ◇梅澤馨会員 ◇圓城寺広明会員

◇親松明会員 ◇梶俊夫会員 ◇佐々木範行会員

◇佐藤忠博会員 ◇志村幸男会員 ◇鈴木昭弘会員

◇鈴木眞一会員 ◇鈴木豊成会員 ◇長瀬敏之会員

◇花輪孝一会員 ◇山下俊也会員 ◇蓬田忠会員

◇鈴木憲治会員【大塚ガバナーご苦労さまです。宜しくお願い致します】 ◇小林武史会員【お先に失礼しますが、どうぞ宜しくお願いします】 以上、ご協力ありがとうございました。

【米山記念奨学委員会 寄付】

鈴木憲治 委員長

◇梅澤馨会員 ◇鈴木眞一会員 ご協力ありがとうございました。

【社会奉仕委員会】

鈴木昭弘 委員長

来週は、新百合ヶ丘駅周辺の清掃活動です。例会後に行いますが、なるべく動きやすい服装でお願いいたします。ご協力をお願いいたします。

大塚ガバナーの卓話に先立ち、

大野勉 第3グループガバナー補佐よりガバナーをご紹介します



【ガバナー公式訪問 卓話】 2025-26年度地区行動計画「ロータリーの基本に根差した『ロータリーのビジョン声明』の追求」

国際ロータリー第2590地区ガバナー

大塚 正一 様 (川崎北ロータリークラブ)

〈自己紹介〉

大塚 正一と申します。1957/1/1、熊本県生まれです。誕生日が1月1日で、かつ長男であったので、父親が「正一(しょういち)」と名付けました。父親の仕事の都合で、3歳で上京し、小学校4年の時に横浜に引越してきました。1969年 横浜市立大曾根小学校を卒業。



1972年 横浜市立大綱中学校を卒業、卒業の少し前に隣の地区の座間市に移りましたので、高校は相模原市にある東海大学附属相模高等学校に入学しました。

高校から始めても、スタートラインは皆同じ部活として、アーチェリー部に入部しました。4月に入部した60名が夏合宿の終わった時には10名に減っていました。昔ですから、練習という名前の「しごき」のひどかった時代の事です。

卒業後は、そのまま東海大学に行かず、他の大学を受験しましたが失敗、浪人している間にアメリカの大学に行こうと決心し、3年間アルバイトなどで資金を貯め、1978年に渡米、ボストン大学へ入学しました。そして一年後にマサチューセッツ州立大学に転校しました(学費未納につき除籍処分)。しかし、次第に家賃や学費を支払う資金が底をつき、日本人レストランで、昼夜とアルバイトすることになり、アルバイトが忙しく大学には行けなくなりました。日本に帰れば、家賃や食事は実家に住むので払う必要はなくなるので、なんとかなるだろうと、2年半後に帰国を決意し、その年に上智大学外国語比較文化学科に入学しました。

さて、自己紹介はこのくらいにして、本題に入ります。

- ・ 「有効性がある」という意味
- ・ 「参加者の基盤を広げる」
- ・ 「参加者の積極的なかわりを促す」
- ・ 「適応力を高める」

これらは、ロータリーの中核的価値観「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ」を会員に、そしてクラブに定着させ、かつ世界や地域社会で持続可能な変化を生むことを目指すために、ロータリーの会員が行動する指針です。それを再認識する目的が国際協議会でした。

国際協議会、初日のマリオ元 RI 会長エレクトが発表したスピーチは「会員増強と活性化に向けたロードマップ」ということで内容は以下のようなものでした。

①ロータリーの最大の財産は会員である。会員増強が何をにおいても重要である。

②その最も価値ある財産(会員)を増やすには Innovation, Continuity, & Partnership(革新、継続性、パートナーシップ)という3つの要素が不可欠。

- ③会員増強こそがロータリーを活性化し、団結させる。
- ④その団結が「ロータリーのビジョン声明」で目指す世界や地域社会で持続可能な良い変化を世界に生み出す。

しかし、マリオ RI 会長エレクトは 6 月初旬に突然辞任してしまいました。それを受けて、フランチェスコ・アレツツォ氏が新 RI 会長として就任されることが 6 月中旬に決まりました。また、マリオ氏のメッセージである「Unite For Good（よいことのために手をとりあおう）」は、そのまま継続と発表され、我々ガバナーエレクト（現ガバナー）は一安心！

そして新年度の始まる 7 月 1 日にアレツツォ新 RI 会長の所信声明が発表されました。それはマリオ氏のメッセージに基づいた内容であり、Innovation, Continuity, & Partnership を違う形で説明されています。マリオ氏がこの 3 要素の会員増強への必要性を十二分に語りましたので、どちらかというと精神面から、この 3 つの要素を語られています。

特に、パートナーシップについては、少しマリオ氏と異なりますし、最初にご自身の所信声明で語られています。

ロータリーの全ての活動において必要なものは、たった 2 つのことである、それは

「友情」と「信頼」です。その「友情」と「信頼」の下に有意義なパートナーシップを築くことで、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためではなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮しましょう。

その後「ロータリーのビジョン声明」に言及します。

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、」人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。その説明の中で、変革、継続性について語っています。変革は、自分自身の中で、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まります。

また、継続性については次のように語られています。継続性とビジョンを持って計画、行動すれば、末長いインパクトを生むことができます。今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。ロータリーを成長させるために、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れましょう、と声明を結ばれています。

私としては、マリオ氏のメッセージにロータリーの精神・心のような内容が欠けていたので、地区の年度方針には「ロータリーの根本に根差した」という言葉を取入れて入れました。

さて、いよいよ 2025-26 年度地区行動計画(方針)を語らせていただきます。

まず、「ロータリーの基本」とは何か？

それは今では歴史的な文章という事になっている「決議 23-34」であることに間違いありません。我々日本のロータリアンにとっては「ロータリーは、1 つの人生哲学であり、利己的欲求と利他の気持ちのバランスを調和するものである」という考え方は特に大切にされてきました。そこには「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、もっとも多く報いられる」というロータリーの大切な考え方(モットー)も述べられています。

そして、それを実践するための行動規範と方向性を示すのが、次の 3 つの文章(文献)です。

● ロータリーの目的(旧「ロータリーの綱領」)

● 四つのテスト

● ロータリアンの行動規範

それらの文章の中で伝えられていることは、ロータリー哲学を具現化するために、「奉仕の理念」と「中核的価値観」(判断や意思決定の基準となる価値観)を大切にすることではないでしょうか。

- ・ **奉仕の理念**: 他人のことを思いやり、他人のために尽くす (thoughtfulness of and helpfulness to others) (国際ロータリー初代事務総長、チェスリー・ペリー氏の言葉)
- ・ **中核的価値観**: 親睦(Fellowship)、高潔性(Integrity)、多様性(Diversity)、奉仕(Service)、リーダーシップ(Leadership)

最後に、我々ロータリアンにとって大切な考え、ロータリーの根幹は、**職業奉仕**の理念だと思います。

「奉仕の理念」を「他人への思いやりと助け合い」と理解すると、すなわち「ロータリーの目的」は次のように解釈することができます。それは「会社の基盤を支える基本姿勢(経営理念、社員教育、職業奉仕)として『他人への思いやりと助け合い』の気持ちを組織内に定着させ、その気持ちを力強く育てあげる」ということです。



では、職業奉仕とは何か？ 非常に簡潔に説明している映像があります。

● 世界は誰かの仕事でできている

● 職業は関連し、世界に貢献！

● 他人のためにが、自分自身に

職業奉仕に対する考えは様々ですので、皆さんそれぞれがお持ちの考えがあると思います。しかし、職業奉仕こそがロータリーの根幹であると言っても、反対する方はいないと思います。

以上の事を「ロータリーの根本」として、それに根差して、以下の 10 項目を実行して頂きたいというのが今年度の地区活動方針としてのお願いです。

- ① **ロータリーの存在意義とロータリーの提供する機会の再認識**: 社会に「ロータリー」という組織が存在できるのは何故かを探り、その組織の中で自分の存在意義、自身の立ち位置を見つけてください。自分が与えられているものは何か、与えることができるのは何かを考えると、すべてはそこから始まります。

特に提供する機会として、会員皆様に再認識して欲しいものとしては、ロータリー平和フェローシップ、ロータリー財団奨学生、米山記念奨学生、ロータリー青少年交換などのプログラムです。これは我々が外部の方々に提供しているものではありますが、同時に我々にはどんな恩恵があるのか、特に Pay Backward(恩返し)だけでなく Pay Forward(恩送り)という素晴らしい面に想いを至らせて欲しいと思います。

- ② **My Rotary の登録:**登録した後は活用することが大切です。登録しただけでは全く意味がありません。いろいろな情報が手に入るようになります。My Rotary に登録するメリットは何か? それを見つけ出す、そのために、まずは登録し、活用してみてください。
- ③ **ロータリーの行動計画を指針とした3年目標(3-Year Rolling Goals)の設定・実施:**ご理解とご協力をお願いします。8月より偶数月の5日にクラブサポートミーティングをオンラインで開催します。クラブ会長もしくは代表の方が必ず参加いただけるようお願いします。
- ④ **地区開催のイベントおよびラーニングセミナーに積極的に参加:**今後の地区大会、RLI など
- ⑤ **RI 主催のイベントに積極的に参加:**ロータリー研究会、台北国際大会(日本から10,000人登録、地区170人を目標)など。
- ⑥ **青少年関係のイベントに積極的に参加:**地区大会開催時に開催されるロータリー財団奨学生の帰国報告会にぜひ参加してください。
- ⑦ **ロータリーの国際交流プログラムを支援:**ロータリー財団への寄付、米山記念奨学会への寄付を例年通りお願いします。
- ⑧ **地区同好会へ積極的に登録・参加:**お待ちしております。
- ⑨ **『ロータリーの友』の積極的な活用:**公共イメージの向上およびクラブ内研修に役立たないでしょうか。是非、亀ヶ谷地区

代表委員を卓話に呼んで「ロータリーの友」についてのお話を聴いてください。

- ⑩ **正しいロータリーロゴを、正しく使用:**これがなかなか達成されません。

ロータリーのブランディングを全世界に確立するためにご協力をお願いします。

基本ルール:ルールは5つだけです。

- ✓ ロゴは My Rotary で作ったものを使用し、一切加工をしない。
- ✓ クラブ名(地区の場合は地区番号)を必ず入れる。(ロータリーの役職の名刺は除く)
- ✓ ロゴの周囲には決まったスペースを空ける。
- X ロゴを縁取りしない、地紋(模様)として使わない!
- X カラー印刷時(カラーの地)に単色ロゴは使わない!

以上の10項目をまとめると、①ロータリーを学び、②ロータリーに参加し、③ロータリーを支援し、④ロータリーを愉(楽)しみましょう、という4つのお願いになります。

地区やクラブの活動に進んで参加してください!

仲間が増え、よりロータリーが愉しめる(内面の楽しみ)ははずです!



〈ガバナーの資料より〉

本日は有難うございました。



【四つのテスト】圓城寺広明 会員 【閉会点鐘】木村良三 会長
【会報委員会】鈴木真一 委員長 写真: 鈴木豊成 委員

